㋕ 看護の心を育てる

平成８年３月，生駒小学校を定年退職した私は，４月から高等学校教育という新しい道を歩き始めました。奈良文化女子短期大学付属高校での勤務です。ようやく新しい仕事に慣れてきた５月８日の朝，私は激しい胸痛に見舞われました。通勤途上での心筋梗塞の発作でした。救急車で運ばれた天理よろづ相談所病院循環器内科のＧ先生の適切な治療で，一命は取り留めたものの，その後１か月あまりを病院で過ごすことになりました。同室のＭさんも心筋梗塞による入院でしたが，処置を受けるまでに相当の時間が経過していたためか，意識が戻らないままの状態が続いていました。

病室の朝は，Ｍさんへの看護婦の声かけから始まります。

「おはよう。Ｍさん。きょうはどうかな。気分はどうかな？」

「さあ歯を磨こうね。グシュグシュっと。きれいになったよ」

それから剃刀でひげをそり，洗面をして…。しかし，Ｍさんの反応はありません。その後，鼻腔を通して流動食を与えます。それがＭさんの朝食なのです。うまくいかずむせることもあります。そんなとき，彼女たちは，「ごめんなさいね」と心から謝ります。たんがつまれば，吸引して取り除きます。夜を徹しての看護，その都度，温かい声かけが聞かれます。

私も術後の２・３日はすべて他人まかせの生活でした。しかし，こうした世話に対するお礼は言えました。心からありがたいと思い，すなおに感謝の気持ちを表すことができました。しかし，Ｍさんの場合は，彼女たちの声かけに対する反応も感謝の言葉もありません。それでも，彼女たちは，「昨日より，顔色がいいみたいよ」「今，口が動いたんじゃない？」と話し，自分のことのように喜ぶのです。

これまでの長い間，教師として「人には親切に」と語り，自分自身もそう心がけてきたつもりでした。しかし，「善意でしたことですから…」とは言いつつ，心の中ではお礼の一言ぐらいはと期待したことはなかっただろうかと思います。若い彼女たちの言動に日ごろを反省するひとときでした。

私が勤務した高等学校には衛生看護科がありました。ピンク衣（彼女たちの実習着はうすいピンク色でした）をはおって看護実習室を出てくる生徒に出会います。彼女たちの頭にはナイチンゲール像の前で戴いたナースキャップがあります。誇らしげな顔，健康的なほほ，澄んだ瞳，温かい眼差しと笑顔に感動し，私は，「次代を担う生徒たちへの教育にがんばろう」と思ったものです。

平成 13 年 1 月 26 日，私は再びこの病院に入院しました。前年の暮れ，かかりつけの歯科医院で見つかった左下顎部の膿疱の摘出手術のためです。心筋梗塞後の治療を受けている私の場合は，入院して手術を受ける必要があったのです。設備は新しくなっていましたが，医師や看護師さんの優しさは同じでした。準備のための入院から 3 日目，私は病棟の看護師さんが押してくれるストレッチャーで中央手術部に行きました。ここで手術室のストレッチャーに乗り換え，手術部に引き継がれました。

清潔な手術室で 4 人のスタッフによる手術を受けました。「痛いときはギュッと握って合図してくださいね」とずっと手をつないでくれ

ていた看護師さんは用事で離れるときには「ちょっと離れますよ」と声をかけてくれました。この言葉が，口以外のすべてをおおわれ，何も見えない状態での不安な気持ちを和らげてくれました。手術は１時間ほどで無事に終わり，病棟の看護師さんに迎えられて病室に戻り，以後の１週間，術後の治療を受けました。

病気になったり，けがをしたりしたとき，私たちは，治療を担当する医師，必要な薬剤の提供をつかさどる薬剤師，診療を助け，療養の世話に当たる看護師，そうした方々の三位一体の力で健康を取り戻していくのです。

先に書いたように，私が定年退職後の５年間を勤務した奈良文化女子短大付属高校には，衛生看護科がありました。普通科の中にも，看護学院などへの進学を目指すコースがありました。また，併設の短期大学に福祉学科が新設されたことを受けて，福祉特進コースが誕生しました。こうしたクラスに在籍する生徒は，看護師や介護福祉士を目指していました。

担当している教科は，物理や化学，情報でしたが，授業の中で，学校行事の中で，あるいは，昼食のときなどにこうした入院体験の中で考えたことを話してきました。そして，衛生看護科の大きな行事である戴帽式にかかわり，福祉特進コースに学ぶ生徒たちの決意式などの企画にかかわってきました。

それは，私のこうした入院体験を看護の心を育てる教育に，福祉の道を目指す生徒を育てる教育に役立てたいと考えてのことでした。

私たち教員が向き合う子どもたちが，将来就く仕事は様々です。その多くは私たちには経験のない世界です。しかし，小・中・高等学校の教員として自らの視野を広げ，子どもたちに将来の進路や生き方を考えさせ，そのための基盤を育む教育に努めたいものです。